



一般質問

※新型コロナウイルス感染症への取り組みとして、壇上にアクリル板を設置するとともに、マスク着用の上、質問を行いました。

公明党



井本 正広議員

質問1

緊急時生活支援チームの設置はできないか

自宅療養者への食料・生活必需品・衛生品の買い物・薬の受け取りやゴミ出しなど、市民に寄り添うチームの設置を。

食料品などの配布に加え、現在、処方薬の対応を検討している。買い物などの支援チームの設置については、他都市事例を研究していく。



質問2

「こうのとりのゆりかご」について

「内密出産制度」導入に向け、法整備について国へ要請するとともに、議員立法を要請してはどうか。

内密出産制度などの法整備の検討を引き続き国に要望するとともに、議員立法も含め、国民的な議論となるよう最大限の努力をしたい。

市民連合



吉村 健治議員

質問1

ヤングケアラー問題への取り組みと正しい認識を

本市の体制の現状と今後の取り組みは。教職員や生徒などに対し、正しく認識してもらう啓発の必要性は。



質問2

沖縄県辺野古新基地埋め立て問題

防衛省が計画している新基地の埋め立てに、戦没者の遺骨を含む土砂を使用することについての市長の見解を。

埋め立て土砂の調達手段などについては、国において適切に判断されるものと考えている。

熊本自民



落水 清弘議員

質問1

子どもへのコロナワクチン接種は、一時中止を！

コロナ死亡0名の子ども達へは、米国FDA・CDC^(※1)において正式承認がされていないワクチンの接種は、『一時中止』をしてください!!



質問2

有明海沿岸連絡道路と新道路ネットワークについて

本県・本市の道路網で最優先と考えられる有明海沿岸連絡道路の早期着工と、中九州道路との連携について。

当路線は有明海沿岸地域と熊本都市圏を結ぶ構想で大きな効果が期待される。今後は国県と連携し具体化に向け検討していく。

自民党



日隈 忍議員

質問1

40歳～65歳の働く世代のがん対策

働く世代のがんで亡くなる方は年間約300人近い。市民と行政が一体となったがん対策推進条例の制定を。



質問2

藻器堀川と保田窪放水路の管理体制について

河川敷道路は安全確保を最優先と考えるが今後の使用方針は。保田窪放水路の通水確保を含む維持管理計画は。

車両の通行制限緩和については慎重な判断が必要。維持管理では河川巡視などにより堆積土砂などを撤去し浸水被害の防止・軽減に努める。

共産党



那須 圭一議員

質問1

新型コロナの自宅療養者の解消を

陽性者の6割が自宅療養です。医療体制強化や宿泊療養施設の拡充を行い、24時間の見守りを。



質問2

住みよい市営住宅へ住環境の改善を

畳替え、給湯器の取り換えなど、遅れている計画修繕の予算拡充を。空き家の修繕を進め、若い世帯の入居促進を。

長寿命化計画の見直しと予算増額を行い、早期解消に努めている。若年層の入居促進を図る取り組みを本年10月から実施する。

公明党

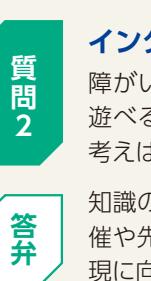


高瀬千鶴子議員

質問1

医療的ケア児への取り組みについて

熊本市における医療的ケア児等コーディネーターの配置に向けた取り組みの現状は。



質問2

インクルーシブ^(※2)公園の必要性について

障がいがある子もない子も、みんなが一緒に遊べる公園の整備が必要と考えるが、市長の考えは。



知識の普及・意識啓発を目的としたイベント開催や先行事例を踏まえてインクルーシブの実現に向けた公園整備のあり方を検討する。

市民連合

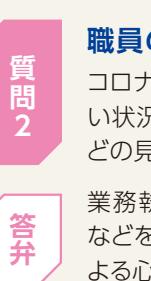


福永 洋一議員

質問1

災害時の地域住民の支援体制について

災害時に住民がどこに避難し、どのような支援が必要かなどのニーズ把握と分散避難の支援体制の整備が必要。



質問2

職員の超過勤務の実態把握と健康管理等

コロナ対策により職員の時間外勤務が増大し厳しい状況。実態を把握し健康管理や業務のあり方などの見直しが必要。



業務執行体制の見直しや効率化、人員体制強化などを通じた時間外勤務の抑制と、産業医面接による心身のケアに取り組んでいく。

自民党



荒川慎太郎議員

質問1

ローラースポーツができる施設整備の必要性

オリンピックで素晴らしい成績を収めたスケートボードなどローラースポーツができる場所の整備が必要では。



質問2

保存に偏った熊本城にバランスよい活用を

城域の保存活用の現状は保存に偏っている。眞の意味での保存と活用の両立を推進していく必要があるのでは。

熊本城保存活用計画に基づき、遺構の保存に努めながら、来場者も楽しめるよう、バランスの良い保存と活用に取り組んでいく。